



表彰式後の集合写真。結果を実感し、喜びが爆発しています。

## スナイプ級優勝、そして悲願の総合入賞！インカレ団体戦本戦@西宮

インカレ前、ホームと言えるくらいにしたかったため、どの大学よりも早く西宮入りしました。大切な場面でいつも通りに体が動くよう、タイムスケジュールなど生活面からの「環境をつくる」ことを84代のスタンスとし、この一年やってきました。

とうとう迎えた10/31、初日は2レースを消化してスナイプは僅差で3位。昨年の結果を超えられる期待が膨らみ、やる気は更に上がっていました。一方、470は揮わず13位スタート。昨年の2日目終了時点と同じムードでクラスごとに明らかに顔つきが違いましたが、その日のミーティングでは「全員」で総合入賞するというのを再確認しました。「全員」とはレースメンバーだけではなくサポートメンバーも包みます。走る、というレースメンバーの役職。支える、というサポートメンバーの役職。一人一役職を持ち、チームに徹する「環境をつくる」ことで、目標に届く。これらを全員で考えて体系化、組織化してきたことには圧倒的な自信があり、総合力では最強だと思える環境ができていました。

2,3日目は各日スタートするもN旗が上がるレースが1つずつあった中で、470はついに前を走ることを、スナイプは逆に悪い展開を経験でき、サポートは柔軟かつ迅速な体制を大会の中で確立でき、レースは無くとも学びはたくさんありました。

迎えた最終日。結果は470級11位、スナイプ級優勝、そして総合5位。スナイプの優勝が決まり、部旗をかかげた主将艇が着艇した時、皆が駆けつけ、喜び、涙しました。私は「今年はみんなで勝つことができた。」そう思うことができ、感謝の気持ちが溢れてきました。470も最終日かなり奮闘してくれ、サポートも全く不手際のない円滑な働きをし、無事目標の総合入賞を達成して84代のヨット人生は幕を閉じました。

部員のみんな、そして監督、コーチ、OBの皆様、保護者の皆様、その他すべての京大ヨット部関係者には感謝してもしきれません。本当に皆様のお力添えなしにはここまで来ることはできませんでした。この場を借りて、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



日々練習に励んでいる部員の生の声をお届けします。  
今回は新4回生スナイプスキッパーの村上大介へのインタビューです。



スナイプスキッパー

## 村上大介

1998年兵庫生まれ。  
明石北高校サッカー部出身。  
工学部物理工学科。  
消灯前に姿を消し、  
起床前に姿を表す。  
艇庫前に祖父家があるという奇跡。

### Q.ヨット競技の好きなところは？

A.ヨットは道具に大きく依存する競技です。艇体をはじめ各種ロープやセールなどたくさんの道具を使います。その質によってある程度結果も変わってくるでしょう。ゆえにセーラーたちは自分の乗るヨットを大事にするし愛着を持っているはず。僕自身、自分の乗る船に愛着を持っています。傷を修理したり、気に入らないところを改造したり、自分好みの色のロープに変えたり。こういう道具と向き合っていくのもヨットの楽しいところであり、好きなところの一つです。

### Q.これまでの部活を振り返って

A.なんとなく楽しそうだと入部し、琵琶湖周航で無邪気にはしゃいでいた1回生の頃がつい最近のように思えます。今までやる気が出ず、漫然とヨットに乗る時もありました。しかし、部員との楽しい時間や大学生活を捧げたヨットと向き合えるのもあと1年。ここからの1年もぼーっとしていればすぐに終わって引退でしょう。後悔の残らないよう「最後の～」という言葉で締め、あの感動の景色を部員全員で見られるよう、最後の1年を全力で駆け抜けて参ります。

### Q.今後の目標

A.今年の部の目標は総合3位です。スナイプチームではクラス優勝。個人の目標は、次の全日本インカレで個人成績シングルを目指します。引退された先輩たちには高い目標に向かって自分の限界を超える姿を見せていただきました。その姿を心に刻み、高い志を持って1年間取り組みたいと思います。そのためには目標に向かって何が足りていないか、目標との距離をどう埋めるかを考えながら過ごしていく必要があります。目標を見失っていることがあれば鼓舞していただけると幸いです。



半年間ペアで一緒に全スナにも出場した、現OBの巖氏と。

## 近畿北陸学生ヨット秋季大会（プレプレ）

こんにちは、470一回生スキッパーの中村和希です。プレプレは11/23,24日の二日間、柳ヶ崎ヨットハーバーにて行われました。予報通りの生憎の無風で初日はノーレースとなりましたが、二日目にはお昼頃からいい南風が吹き2レース成立しました。

今回のレースは交代後の京大ヨット部の初陣となりましたがsnipe級優勝、470級準優勝、総合優勝という幸先の良い結果になりました。一回生ながらもシングルをとって帰ってくる同期やトップホーンを鳴らしている上回生がいて、とても良い刺激となりました。

また、私個人としては、自身で立てた目標には一步届かず、レース内容もとても悔いの残るものでした。しかし、1回生のこの時期にこんなにも悔しい思いを経験できてとても貴重な経験になりました。この悔しさは今後も忘れることなく真摯に練習に取り組んでいきたいと思っています。



リベアしながら記念撮影。表情がバラエティーに富んでいるのは京大ヨット部の個性そのもの。

## 今日のマネ飯 today's dinner

部員たちの体調を支える毎日の食事。その中の一つを紹介します。

### ～カツカレー～

今日のマネ飯「カツカレー」

カツカレーは、野菜がたっぷり入ったまろやかでコクのあるカレーの上に大きなカツをのせたスタミナのつく夜ご飯です。

たくさんの野菜を切るのは大変ですがプレイヤーが最高のコンディションで練習するために栄養満点になっています。寒い季節なので、艇庫では温まって元気になってもらえるよう、温かくて美味しいマネ飯を作っていきたいと思っています！



1回生  
マネージャー  
野阪 ゆみこ

### 京都大学体育会ヨット部

滋賀県大津市鏡が浜番外地  
京大ヨット部艇庫

[tel] 077-525-0312  
[hp] <https://www.kuyc-home.com/>  
[mail] [kuyc.2013@gmail.com](mailto:kuyc.2013@gmail.com)



<https://twitter.com/kuyc>



<https://www.facebook.com/kyoto-sailing/?fref=ts>



[https://www.instagram.com/kuyc\\_food/?hl=ja](https://www.instagram.com/kuyc_food/?hl=ja)